（知的財産のサンプル)

職 務 経 歴 書

20xx年xx月xx日現在

氏名　○○ ○○

■職務要約

株式会社○○○○○に入社後、知的財産部に配属となり、約x年間主に通信システム装置の技術分野の特許出願業務に従事しています。外国特許出願業務にも携わり翻訳作業なども実施。また知的財産戦略として、発明発掘活動を積極的に実施。日々技術の流れの情報キャッチアップや知識の習得に努め、技術者へのヒアリングから発明を発掘し権利化へつなげています。

■職務経歴

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 20xx年xx月～現在　　株式会社○○○○○ | | |
| 事業内容：通信機器、装置造業  資本金：x億x千万円（20xx年度）　売上高：x億x千万円（20xx年xx月）  従業員数：xxx人　上場：東証一部上場 | | 正社員  として勤務 |
| 20xx年xx月  ～  現在 | 本社　／　○○部 | |
| 【担当分野】  通信システム装置  【国内特許出願業務】（約x年）  ・明細書作成x件  ・中間処理x件  ・発明発掘x件  【外国特許出願業務】（約x年）  ・明細書作成x件  ・中間処理x件  ・特許明細書の翻訳業務  【調査業務】（約x年）  ・出願前調査  ・特許侵害調査  ・技術動向の調査  ・無効資料調査  ・調査報告書の作成  【契約・訴訟業務】（約x年）  ・特許共同出願契約  ・知財ライセンス契約  ・特許侵害訴訟対応  【戦略立案業務】（約x年）  ・パテントマップ作成  ・知財活動体制の構築  【主な実績】  ・x年間でxx件の発明の権利化  知的財産戦略の一環として、技術者へのヒアリングを行い発明発掘活動を実施。結果としてx年間でxx件の発明の特許権取得に貢献しました。 | |

■活かせる知識・経験・技術

・通信システム装置に関して明細書を作成可能なレベルの知見

・発明発掘の経験

・大学院にて○○の技術を研究

■PCスキル

|  |  |
| --- | --- |
| Word | 報告書、見積書、礼状などの社内外文書が作成できるレベル |
| Excel | IF関数、VLOOKUP、ピボットテーブル、マクロが使用できるレベル |
| PowerPoint | 会議資料、提案資料が作成できるレベル |

■資格

|  |  |
| --- | --- |
| 普通自動車第一種運転免許 | 20xx年xx月取得 |
| 弁理士資格（1次試験） | 20xx年xx月合格 |
| 知的財産検定 2級 | 20xx年xx月合格 |
| TOEIC Listening＆Reading Test　xxx点 | 20xx年xx月取得（メール、電話、交渉などで使用可能なレベル） |

■自己PR

＜権利化につなげるヒアリング力＞

発明を発掘し特許を出願するため、技術者へのヒアリングを徹底して実施。ヒアリングにあたっては、事前に技術動向や先行技術などを調査してスムーズな潜在的発明の発掘に努めました。また技術者の発明を適切に理解し明細書を作成できるように、日々情報や知識の習得に努めています。結果として、x年間でxx件の発明を発掘し、権利化につなげることに貢献しました。

＜特許数増加のための行動力＞

知的財産戦略を積極的に進めていくため、知財活動の体制を構築。パテントマップの作成や技術や市場の動向を調査し、自社製品の他社製品との違いなどを分析しました。また技術者と連携して将来的な技術の流れを想定し、権利化を実現させる開発戦略を策定。戦略に沿った開発・発明を行うことで、特許権を取得できる発明の増加に貢献し、20xx年はxx件の権利化に成功しました。

以上